EST メールマガジン　第 225 号(2025.4.25)
発行：環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

□主な内容

【地域脱炭素フォーラム 2025 を全国 9 ブロックで開催します】

　環境省は、「地域脱炭素フォーラム 2025　～地域脱炭素 2.0 に向けた官民連携の更なる強化～」を開催します。

　2025 年 5 月 17 日に横浜市、2025 年 5 月 25 日に神戸市での開催が予定されています。

https://www.env.go.jp/press/press_04734.html

【グリーン経営認証取得講習会を開催します】

　国土交通省近畿運輸局とエコモ財団は、トラック・バス・タクシー・倉庫・港湾運送・旅客船・内航海運の事業者を対象に、グリーン経営認証取得講習会を 5 月 29 日～30 日に開催します。

https://wwwtb.mlit.go.jp/kinki/content/000348839.pdf

□目次

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 219 回)
●宇都宮市「環境に優しい公共交通の脱炭素化の推進」
【宇都宮市環境部環境創造課カーボンニュートラル推進室】

2. ニュース／トピックス
●地域脱炭素フォーラム2025の開催について【環境省】
●地域交通DX:MaaS2.0のプロジェクトを新たにスタートします！デジタル技術の活用により地域交通の利便性向上や産業構造の強靱化を図るプロジェクトを推進【国土交通省】
●全国のMaaS推進に向けた支援を実施します！　～令和7年度「日本版MaaS推進・支援事業」の選定について～【国土交通省】
●地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）の公募開始について【国土交通省】
●令和7年度グリーンスローモビリティ導入促進事業における車両登録の公募について【環境省】

●「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令」及び「圧縮水素ガスを燃料とする車両の燃料電池等の技術上の基準を定める告示」について　～鉄道における水素燃料電池鉄道車両の導入に向けた取組みを推進～【国土交通省】
●令和7年度「モーダルシフト等推進事業」（補助事業）の募集開始【国土交通省】
●「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】
●国際海運におけるゼロエミッション燃料船の導入促進のための条約改正案に合意　～IMO第83回海洋環境保護委員会の開催結果～【国土交通省】
●小松市で運行する自動運転車（レベル 4）の認可を行いました【北陸信越運輸局】
●日本版ライドシェア木古内で始動！　～「自治体申出」及び「配車アプリ不使用」での運行は北海道初～【北海道運輸局】
●岡山・広島県内の日本版ライドシェア運行エリア拡大！　～「赤磐交通圏」、「江田島市」の営業区域で「日本版ライドシェア」を許可しました～【中国運輸局】
●綾町オンデマンド交通の実証実験を開始しました【綾町】
●デマンド交通「どこっ茶バス」の運行について【東彼杵町】
●電動ミニバスの運行が始まります！【黒部市】
●予約制乗合交通「しかばす　いーじー」の運行を開始しました【志賀町】
●公共ライドシェアの試験運行について【小山町】
●国内で初めて EV スクールバスの定額制サービスを筑後市で開始します　～「九電でんきバスサービス」による車両の多目的活用等を通じて、自治体・学校教育施設のカーボンニュートラルに貢献～【九州電力、芙蓉総合リース、芙蓉オートリース】
●国内初となる合成燃料を使用した万博シャトルバスお披露目式を開催　～ラッピングバスを初披露！～【ENEOS、JR 西日本、日野自動車】
●移動ニーズの多様化に対応し、住むひと、訪れるひとに選ばれ続ける東急線沿線を目指します【東急、OpenStreet】
●熊本駅近隣でパブリック EV シェアリングサービス「weev＋」の提供を開始しました　～鉄道と電気自動車の接続によりクリーンな移動を実現～【九州電力、JR 九州】
●国内家電市場における共同物流のエリアを拡大　～国内物流の社会的課題の解決や環境負荷軽減をさらに推進～【ソニーマーケティング、日立 GLS】
●宮古島での実証実験を成功裏に完了　～高齢化による交通人材不足に対応、自動運転技術で持続可能な地域交通モデルを構築へ～【Turing Drive、Xtran】
●温室効果ガス排出量削減のための「GoGreen Plus」契約に調印【佐川急便、DHL】

3. イベント情報
●地域脱炭素フォーラム 2025 in 横浜【2025/5/17】
●わくわく鉄道フェスタ 2025【2025/5/17】
●きんてつ鉄道まつり 2025in 塩浜【2025/5/17-18】
●グランシップトレインフェスタ 2025【2025/5/17-18】

●バスとタクシーのひろば in 小平 2025【2025/5/18】
●京急ファミリー鉄道フェスタ 2025【2025/5/18】
●芸陽バスまつり【2025/5/24】
●地域脱炭素フォーラム 2025 in 神戸【2025/5/25】
●グリーン経営認証取得講習会【2025/5/29-30】
●よこすか YY のりものフェスタ 2025【2025/5/31-6/1】

4. その他
●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
●電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
●「運輸・交通と環境」を発行しています！
●記事募集中！

==========

1. 寄稿「地方から全国に向けた情報発信！」(第 219 回)

●宇都宮市「環境に優しい公共交通の脱炭素化の推進」

【宇都宮市環境部環境創造課カーボンニュートラル推進室】

宇都宮市では、誰もが豊かで便利に安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」の実現に取り組むとともに、その実現に向け、まちの「土台」となるコンパクトな街が公共交通でつながった「ネットワーク型コンパクトシティ」のまちづくりを進めています。この形成に向け、都市の様々な活動を支え、各拠点間の円滑な連携を図り、誰もが活発に外出や交流ができる公共交通を中心とした交通環境を創出することで、「過度に自動車に依存した社会」から「公共交通と自動車が共存した社会」への転換を目指しています。

そのため、宇都宮市では、階層性のある公共交通ネットワークの構築に向け、各拠点間を結ぶ、バス路線や日常生活の移動を面的にカバーする地域内交通の導入促進とともに、南北方向の鉄道とあわせ公共交通ネットワークの要となる次世代型路面電車である芳賀・宇都宮LRT「ライトライン」を令和 5 年 8 月に開業しました。

このライトラインは、家庭ごみの焼却や家庭用太陽光発電で得られた地域由来の再生可能エネルギー100%で走行する「ゼロカーボントランスポート」を実現しており、宇都宮市ではEVバスの導入等とあわせて利便性だけでなく、環境に優しい「公共交通の脱炭素化」を進めています。

●ライトライン

●宇都宮ライトパワー株式会社

2. ニュース／トピックス

●地域脱炭素フォーラム2025の開催について【環境省】

環境省は、「地域脱炭素フォーラム 2025 ～地域脱炭素 2.0 に向けた官民連携の更なる強化～」を各地域ブロックで開催します。本フォーラムでは、地域脱炭素に精力的に取り組む自治体や事業者、金融機関、学識者等による議論を通じて、「産官学金労言」など多様な主体を巻き込んだ地域脱炭素のムーブメントにつなげることを目指します。

https://www.env.go.jp/press/press_04734.html

●地域交通DX:MaaS2.0のプロジェクトを新たにスタートします！デジタル技術の活用により地域交通の利便性向上や産業構造の強靱化を図るプロジェクトを推進【国土交通省】

国土交通省は、2025 年度から、「交通空白」解消など地域交通の「リ・デザイン」の全面展開を進めるため、「サービス」、「データ」、「マネジメント」、「ビジネスプロセス」の 4 つの観点からデジタル活用を一体的に推進する地域交通 DX:MaaS2.0 のプロジェクトを新たにスタートさせ、19 件のプロジェクトを採択しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000424.html

●全国のMaaS推進に向けた支援を実施します！ ～令和7年度「日本版MaaS推進・支援事業」の選定について～【国土交通省】

国土交通省は、「交通空白」の解消など地域交通の「リ・デザイン」全面展開を図るため、地域の課題解決に資する MaaS の導入を支援しており、2025 年度は「日本版 MaaS 推進・支援事業」において、全国 29 事業を支援対象として選定しました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000431.html

●地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）の公募開始について【国土交通省】

国土交通省は、人手不足や地域の足の確保等、地域公共交通が抱える課題に対する解決手段として期待される自動運転について、地方公共団体によるレベル 4 自動運転移動サービス実装に係る初期投資を支援しており、令和 7 年度自動運転社会実装推進事業の公募を開始しました。公募期間は 2025 年 5 月 12 日までです。

本事業は、地域づくりの一環として行うバスサービスなどの自動運転化に伴う経費に対して、地方公共団体または地方公共団体を代表とするコンソーシアムなどがその費用負担を軽減するため、当該経費の一部を助成する事業等に要する経費を補助し、経営面、技術面、社会的受容性等の取組みを推進することで、自動運転技術を活用した持続可能な移動サービスを構築することを目的としています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha07_hh_000526.html

●令和7年度グリーンスローモビリティ導入促進事業における車両登録の公募について【環境省】

環境省は、令和 7 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（地域の公共交通×脱炭素化移行促進事業）のうち、グリーンスローモビリティ導入促進事業について、補助対象車両登録の公募を開始しました。公募期間は、2025 年 5 月 20 日までです。

https://www.env.go.jp/press/press_04780.html

●「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令」及び「圧縮水素ガスを燃料とする車両の燃料電池等の技術上の基準を定める告示」について　～鉄道における水素燃料電池鉄道車両の導入に向けた取組みを推進～【国土交通省】

国土交通省は、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令の一部を改正する省令」及び「圧縮水素ガスを燃料とする車両の燃料電池等の技術上の基準を定める告示」を、2025 年 4 月 1 日に施行しました。

2050 年カーボンニュートラルや水素社会の実現に向けて、現在、複数の鉄道事業者において、圧縮水素ガスを燃料とする鉄道車両の技術開発や実証実験等が進められています。一方、鉄道の輸送の用に供する施設及び車両の構造及び取扱いを規定している、「鉄道に関する技術上の基準を定める省令」では、水素燃料電池鉄道車両に対する具体的な技術基準が定められていませんでした。このため、水素燃料電池鉄道車両の社会実装を進めていくため、技術基準省令の改正を行いました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo07_hh_000302.html

●令和7年度「モーダルシフト等推進事業」（補助事業）の募集開始【国土交通省】

国土交通省は、温室効果ガスの排出削減、流通業務の省力化による持続可能な物流体系の構築を図るため、「モーダルシフト等推進事業」の募集を開始しました。公募期間は、2025 年 6 月 6 日までです。

対象事業は、①物流効率化法に基づく総合効率化計画策定のための調査事業、②物流効率化法の総合効率化計画に基づき実施する事業であり、2025 年度事業では貨客混載をはじめとするラストワンマイルの配送効率化について、過疎地域以外の取組みも補助対象に追加されています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000870.html

●「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】

国土交通省は、第 48 回「エコレールマーク運営・審査委員会」において、エコレールマークの取組企業として 1 社、認定商品として 5 件、協賛企業として 1 社を新たに認定しました。

エコレールマーク制度は、地球環境に優しい貨物鉄道輸送を一定以上利用している商品又は企業に対して、「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。「エコレールマーク」の表示された商品等を通じて、流通過程において企業が地球環境問題に貢献していることを消費者に意識させ、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進することを目的としています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo01_hh_000220.html

●国際海運におけるゼロエミッション燃料船の導入促進のための条約改正案に合意 ～IMO第83回海洋環境保護委員会の開催結果～【国土交通省】

2025 年 4 月 7 日～11 日に、国際海事機関（IMO）第 83 回海洋環境保護委員会が開催されました。

「2050 年頃までに国際海運からの温室効果ガス（GHG）の排出ゼロ」という国際目標の実現に向けて、我が国が欧州と共同提案した、1. 船舶の使用燃料を段階的に GHG 排出量の少ない代替燃料に転換する制度、2. ゼロエミッション燃料船の導入に経済的インセンティブを与える制度を含む条約改正案を基に交渉が進められ、今次会合で基本合意されました。

この新たな国際的な枠組みが発効すれば、代替燃料の供給に向けた取組みの加速、我が国が開発を進めているゼロエミッション燃料船等の技術の優位性が発揮され、海事産業の国際競争力強化が期待されます。その他、海洋汚染防止等のための船舶の環境対策が議論されました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji07_hh_000367.html

●小松市で運行する自動運転車（レベル 4）の認可を行いました【北陸信越運輸局】

北陸信越運輸局は、小松市を運行する車両の自動運行装置について、道路運送車両法に基づく保安基準への適合性を確認し、当該車両に対し走行環境条件の付与を行い、運転者を必要としない自動運転車（レベル 4）として認可しました。

この自動運転車は、特定の条件下においてあらかじめ決められたルート内を周囲の車両や歩行者等を検知しながら、自動運転により運行することが可能です。なお、今回の認可は車両に関するものであり、今後、道路交通法に基づく特定自動運行の許可手続を行うことにより、公道をドライバーレスの状態で走行することが可能となります。

https://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/content/000347353.pdf

●日本版ライドシェア木古内で始動！　～「自治体申出」及び「配車アプリ不使用」での運行は北海道初～【北海道運輸局】

北海道運輸局は、「松前圏」の営業区域において、有限会社北光ハイヤーに対し、日本版ライドシェアの許可を行いました。「日本版ライドシェア」は、タクシー事業者の管理の下で地域の自家用車や一般ドライバーを活用し、タクシーが不足する曜日や時間帯において、有償で運送サービスを提供する制度です。

今回の許可は、木古内町からの申出によるもので、配車アプリを使用しない形態により実施される予定です。「自治体申出」及び「配車アプリ不使用」での運行は、北海道初の事例です。

https://wwwtb.mlit.go.jp/hokkaido/press/20250318_00001.html

●岡山・広島県内の日本版ライドシェア運行エリア拡大！　～「赤磐交通圏」、「江田島市」の営業区域で「日本版ライドシェア」を許可しました～【中国運輸局】

中国運輸局は、計 18 の営業区域において日本版ライドシェアの許可を行ってきましたが、「赤磐交通圏」と「江田島市」の 2 営業区域で新たに許可を行いました。

このうち、「赤磐交通圏」では、現在タクシーが不足している午前中の移動需要に対応するため、運行時間帯を「毎日 6 時台～11 時台」として許可したものです。

https://wwwtb.mlit.go.jp/chugoku/00001_02258.html

●綾町オンデマンド交通の実証実験を開始しました【綾町】

綾町は、高齢者の外出を支援する新しい交通手段の導入に向け、4 月 1 日から「綾町オンデマンド交通」の実証実験を始めました。これまでの外出支援バスがより便利なものとなり、町内 17 地区 124 カ所に設置した停留所を走ります。

対象者は、町内在住の 70 歳以上、運転免許証を返納した方、障がいなどの特別な理由がある方となり、利用料金は無料です。

https://www.town.aya.miyazaki.jp/soshiki/hukusihokenka/9031.html

●デマンド交通「どこっ茶バス」の運行について【東彼杵町】

東彼杵町は、4 月 1 日より、デマンド交通「どこっ茶バス」が本格運行を開始しました。

本格運行では、運行エリアの制限がなく、一部の既存バス停に加え、地域の公民館や集落に近い場所で乗降することができます。

https://www.town.higashisonogi.lg.jp/soshiki/somuka/2/2/3222.html

●電動ミニバスの運行が始まります！【黒部市】

黒部市は、出かけやすいまちづくり・出かけて楽しいまちづくりとして、中心市街地の移動の利便性・回遊性を高め、賑わいづくりに寄与するとともに、市民の外出を促し健康増進につなげる観点から、市民病院、あおーよ、商業施設等を結ぶ電動ミニバス（グリーンスローモビリティ）の運行を開始しました。

https://www.city.kurobe.toyama.jp/news/detail.aspx?servno=42345

●予約制乗合交通「しかばす　いーじー」の運行を開始しました【志賀町】

志賀町は、利用者の減少や運行コストの増大などの理由から、町地域公共交通活性化協議会での協議を経て、4 月 1 日から、現在の定時定路線の「しかばす」を廃止し、AI を活用した予約制乗合交通「しかばす　いーじー」の運行を開始しました。

希望する日時に、町内の希望する場所（停留所）まで行くことができ、志賀地域と富来地域の移動も可能となります。

https://www.town.shika.lg.jp/s/zaisei/community_bus/shikabus_easy.html

●公共ライドシェアの試験運行について【小山町】

小山町では、公共交通施策の一環として、一般ドライバーが自家用車を活用して利用者を運ぶ新しい移動形態「公共ライドシェア」の試験運行を 4 月末まで実施しています。

https://www.fuji-oyama.jp/sangyoumachi_koukyokotsu_202503102013336.html

●国内で初めて EV スクールバスの定額制サービスを筑後市で開始します　～「九電でんきバスサービス」による車両の多目的活用等を通じて、自治体・学校教育施設のカーボンニュートラルに貢献～【九州電力、芙蓉総合リース、芙蓉オートリース】

九州電力株式会社及び芙蓉総合リース株式会社、芙蓉オートリース株式会社は、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みの一環として、電気バス導入を検討する自治体や民間企業向けに、車両やエネルギー関連サービス等をパッケージで定額制にて提供する「九電でんきバスサービス」を展開しています。

筑後市が小学校再編に伴いスクールバスを新規導入するにあたり本サービスを導入し、6 か年のサービス契約を締結しました。EV　マイクロバスがスクールバスとして本格導入されるのは、国内で初めての事例です。

https://www.kyuden.co.jp/press/2025/h250328c-1.html

●国内初となる合成燃料を使用した万博シャトルバスお披露目式を開催　～ラッピングバスを初披露！～【ENEOS、JR 西日本、日野自動車】

ENEOS 株式会社、西日本ジェイアールバス株式会社、日野自動車株式会社は、2025 年日本国際博覧会開催期間中に、国内初となる合成燃料を使用した駅シャトルバスを運行しています。運行に先立ち、3 月 27 日に、乗り場となる「うめきたグリーンプレイスバス駐車場」において万博シャトルバスのお披露目式を開催しました。

合成燃料は、原料に再生可能エネルギー由来の水素と CO_2 を使用することから、原料製造から製品利用までの製品ライフサイクル全体において、CO_2 排出量を抑えることのできるクリーンな燃料です。

https://www.eneos.co.jp/newsrelease/upload_pdf/20250328_01_01_0906370.pdf

●移動ニーズの多様化に対応し、住むひと、訪れるひとに選ばれ続ける東急線沿線を目指します【東急、OpenStreet】

東急株式会社と OpenStreet 株式会社は、東急線沿線の鉄道駅や商業施設などへの住民・来街者のアクセス性の向上を目的に、資本業務提携契約を 2025 年 3 月末に締結しました。

2023 年 6 月に東急バス株式会社と OpenStreet は業務提携を結び、東急線沿線を中心に「HELLO CYCLING」を活用したシェアサイクル事業と「HELLO MOBILITY」を活用した EV カーシェア事業を運営しています。資本業務提携を締結することで、OpenStreet が保有する交通移動データの連携が可能になり、本データを活用することで、東急線沿線の鉄道駅や商業施設などへの住民・来街者のアクセス性の向上を図り、利用者にとってより便利で快適なまちづくりを推進していきます。

https://www.tokyu.co.jp/company/news/list/Pid%3Dpost_56116.html

●熊本駅近隣でパブリック EV シェアリングサービス「weev＋」の提供を開始しました　～鉄道と EV の接続によりクリーンな移動を実現～【九州電力、JR 九州】

九州電力株式会社と九州旅客鉄道株式会社は、熊本駅近隣における EV シェアリングサービスの提供を 4 月 1 日から開始しました。

本取組みにおいて、九州電力は、パブリック EV シェアリングサービス「weev＋」の運営を担当し、テスラモデル 3 を用いた快適な EV の乗車機会を提供します。JR 九州は、同社熊本支社の駐車場を「weev＋」へ提供するとともに、鉄道利用客等に対して PR を行います。

https://www.kyuden.co.jp/press/2025/h250328d-1.html

●国内家電市場における共同物流のエリアを拡大　～国内物流の社会的課題の解決や環境負荷軽減をさらに推進～【ソニーマーケティング、日立 GLS】

ソニーマーケティング株式会社と日立グローバルライフソリューションズは、国内物流に関する社会的課題の解決や環境負荷の軽減をさらに推進するため、2025 年 4 月以降順次、共同物流を首都圏エリアと関西エリアでも開始します。本取組みは、2024 年 4 月から北海道で開始している共同物流の取組みエリアを拡大するものです。

https://www.sony.jp/CorporateCruise/Press/202503/25-0317/

●宮古島での実証実験を成功裏に完了　～高齢化による交通人材不足に対応、自動運転技術で持続可能な地域交通モデルを構築へ～【Turing Drive、Xtran】

台湾発の自動運転技術スタートアップの Turing Drive Inc.と日本の交通ソリューション企業の Xtran 株式会社は、協業を発表しました。

両社は、宮古島において無人運転車両の実証実験を実施し、成功裏に完了しました。本プロジェクトは、日本貿易振興機構が主導する「J-Bridge」プログラムの支援を受けて推進されました。

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000041.000127346.html

●温室効果ガス排出量削減のための「GoGreen Plus」契約に調印【佐川急便、DHL】

佐川急便株式会社と DHL ジャパン株式会社は、持続可能な航空燃料（SAF）の活用により、輸送に伴う温室効果ガス排出量を削減する国際輸送サービス「DHL GoGreen Plus」に関する契約を締結しました。これにより、佐川急便の日本発海外向け輸送サービス「飛脚国際宅配便」において、DHL が提供する SAF の環境価値を活用し、輸送にかかる温室効果ガスの排出量を約 10%削減できる見込みです。

https://www2.sagawa-exp.co.jp/newsrelease/detail/2025/0416_2434.html

---

2. イベント情報

●地域脱炭素フォーラム 2025 in 横浜
日時：2025 年 5 月 17 日（土） 14:00～16:30
場所：ハイブリッド開催（パシフィコ横浜 ノース 3 階（G301・G302）＋オンライン配信）
主催：環境省
https://www.env.go.jp/press/press_04734.html

●わくわく鉄道フェスタ 2025
日時：2025 年 5 月 17 日（土） 10:00～15:00
場所：広瀬川原車両基地
主催：秩父鉄道
https://c58363.com/wakufes/?_gl=1%2A1fh6cxt%2A_ga%2ANzk4MzUyNjk4LjE3NDUyMjI4NTk.%2A_ga_GFWEECCQ72%2AMTc0NTIyMjg1OS4xLjEuMTc0NTIyMjk4MS42MC4wLjA.

●きんてつ鉄道まつり 2025in 塩浜
日時：2025 年 5 月 17 日（土）、18 日（日） 10 時～15 時
場所：塩浜検修車庫：名古屋線
主催：近畿日本鉄道
https://www.atpress.ne.jp/news/432674

●グランシップトレインフェスタ 2025
日時：2025 年 5 月 17 日（土）10:00～17:00
18 日（日）10:00～15:30
場所：グランシップ全館（JR 東静岡駅南口隣接）
主催：静岡県文化財団、静岡県
https://www.granship.or.jp/visitors/event/detail.php?id=3428

●バスとタクシーのひろば in 小平 2025
日時：2025 年 5 月 18 日（日）11:00～15:00
場所：新東京自動車教習所
主催：小平市
https://www.city.kodaira.tokyo.jp/event/118/118534.html

●京急ファミリー鉄道フェスタ 2025
日時：2025 年 5 月 18 日（日）10:00～16:00
場所：京浜急行電鉄　久里浜工場
主催：京浜急行電鉄
https://www.keikyu.co.jp/cp/festa2025/

●芸陽バスまつり
日時：2025 年 5 月 24 日（土） 10:00～14:00
場所：西条駅前にぎわい広場
主催：芸陽バス
https://www.geiyo.co.jp/news_detail.html?id=288

●地域脱炭素フォーラム 2025 in 神戸
日時：2025 年 5 月 25 日（日） 14:00～16:30
場所：ハイブリッド開催（神戸国際会議場　国際会議室 301＋オンライン配信）
主催：環境省
https://www.env.go.jp/press/press_04734.html

●グリーン経営認証取得講習会
日時：【ﾄﾗｯｸ･ﾊﾞｽ･ﾀｸｼｰ】2025 年 5 月 29 日（木）13:30～15:30（受付：13：00）
【海事等】2025 年 5 月 30 日(金)10:00～12:00（受付：09:30）
場所：神戸第 2 地方合同庁舎　第 1 共用会議室
主催：国土交通省近畿運輸局、エコモ財団
https://wwwtb.mlit.go.jp/kinki/content/000348839.pdf

●よこすか YY のりものフェスタ 2025
日時：2025 年 5 月 31 日(土)～2025 年 6 月 1 日(日)
場所：ヴェルニー公園、JR 横須賀駅、海上自衛隊横須賀地方総監部、
コースカ ベイサイド ストアーズ
主催：横須賀市観光協会
https://yokosuka-kanko.com/events/norimono-2025/

――

3. その他

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

http://www.green-m.jp

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

https://mm-education.jp/mailmagazine.html

●グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

●「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html

(英語版)

https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail：magazine@ecomo.or.jp(担当：岡本)

==========

発行：環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト：https://www.estfukyu.jp/